



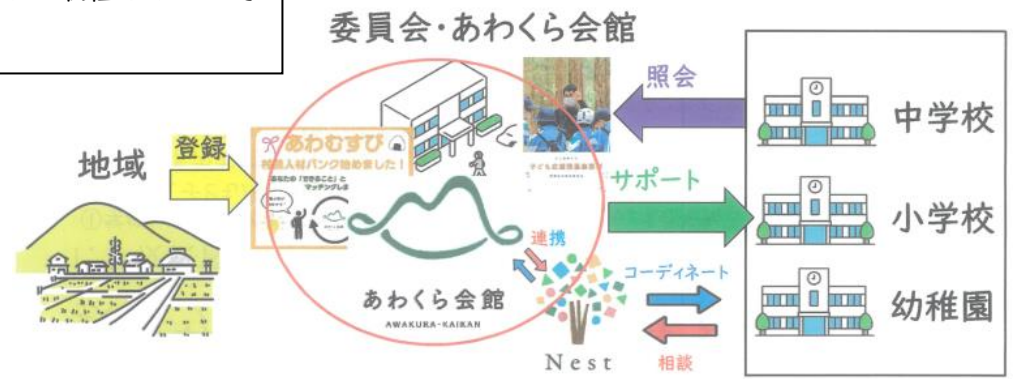
教育長からの説明

協議会委員には次の役割があります。

- ① 学校経営方針を承認する
 - ② 合議制により組織として意見を述べる
 - ③ 教職員の任用に対する意見を述べる
- 西栗倉の教育では「15歳までにつけたい力」をベースに、幼・小・中が連動した取組をしていきましょう。

子ども応援団

学校教育や社会教育で子どもたちの活動をサポートする組織です。学校や地域の教育団体と一緒に活動します。「あわむすび(村民人材バンク)」内の「子ども応援団」に登録をお願いします。



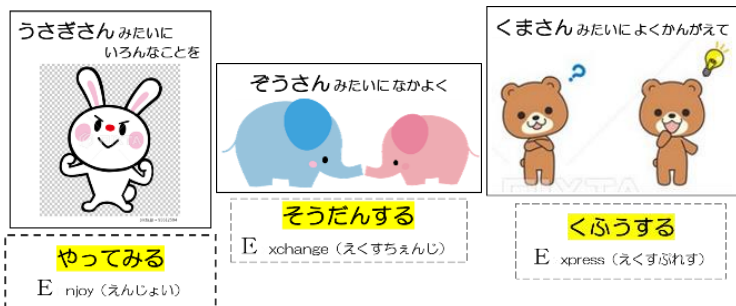
令和7年6月12日(木)に第1回学校運営協議会が開催されました。
協議会委員委嘱の後、会長に岡野真由子さん、副会長に白旗ちえみさんが選出されました。
全体での説明の後は、幼・小・中グループ別に協議をおこないました。

～心豊かでたくましい子どもを育てる～

☆遊びを通して育てる☆

- ・遊びこむ やってみたいを引き出す
- ・遊びの中で、ルールや学習につなげる
- ・挑戦する気持ち 人とのつながり 達成感の育成

○3つのE～ねを育み、やってみたいを何でもみつけ
○3つのE～ねを子どもたちと共有



○地域や、小・中学校の人たちとの関りをもっと増やしていきたい。



自己肯定感
自信をもってチャレンジしよう
やってみよう
コミュニケーション力

<協議>

- 地域の人たちとのふれあいを大切にしたい。
環境整備、野菜作り、あいさつなど、できることを決めて取り組んでいきたい。
- 子どもたちの様子が見える機会を増やす。
- 保育参観や協議の日を設定する。

～子どもたちが幸せで、
すくすく成長できることを願って～



<協議>

活動の具体案についてアイデアを出し合った。

- ・体育で地域方と交流(囲碁ボール etc)
- ・体育でスポーツ選手による指導
- ・健康体操の創作(社協とコラボ)
- ・学習のまとめ時にクリエイターの指導
- ・村の文化祭や夏祭りに中学生のブース設置 などなど・・・

～ふるさとを愛し仲間とともに自ら学ぶ児童の育成～

○我がごとプロジェクトの実施：3部構成で取組

- ・学びづくり：学びを我がごととし、真剣に考え、対話と協働を通して課題解決に取り組ませる
- ・絆づくり：コミュニケーションを通して共感的人間関係を育む
- ・健康・体力づくり：自らの振り返りを大切に、生きていく基盤となる健康・安全の意識を高める

○未来に生きる場所を自ら作る力を育てる。

<協議>

- 具体的な支援要請をあげる。
- 児童や学校の様子を知ってもらい、
どんなことができるか話し合っていく。



「未来を拓き たくましく生きる力の育成」～ 自律、協働、挑戦 ～

中学校

最上位目標：「15の春の自立を地域とともに目指す活力のある学校」

中学校卒業時に、自立し、様々な環境や困難にも適応できる生徒を育てるために、学校、保護者、地域でできることを精一杯やっておきたい。

○2つのプロジェクト

「主体的な学び」プロジェクト(授業改善)

自ら考え、仲間と協働して学び合い、高め合う生徒の育成

「豊かな心」プロジェクト(あわくら未来学)

探究的な取り組みを通して自立、協働、挑戦の力を身につけた生徒の育成

○生徒の主体的な活動 「あたり前のことを あたり前にする」

- ・5・3・1行動(5分前移動、3分前入室、1分前着席)
- ・TPOC(時 Time 場所 Place 場合 Occasion 会話 Communication)
- ・H₂O(H₂:話し合い・発表 O:教え合い)